



# 施策・事務事業マネジメントシート【令和6年度】

## 1 施策の基本情報

施策名		11 生涯を通した健康づくり
目的	対象	市民
	意図	生涯にわたり健康な生活を送ることができる身近な地域で安心して医療を受けられる
施策の方向		市民が主体的に取り組む地域健康づくりや疾病予防を推進するとともに、疾病の早期発見・早期治療体制及び重症化予防の充実を図ります。また、医療保険制度改革に適切に対応した保健行政の推進を図ります。

## 2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

<p>施策の目的、方向に対する考察</p> <p>令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染症法上の分類が5類に変更されたことにより市民生活が平常時に戻りつつあり、市の健康施策も多くが従前の形で実施された。市民意識調査において「健康だと感じている市民の割合」が5ポイント増加したことはその影響が大きいと思われる。緊急事態宣言などを経て、健康そのものについての市民の意識も高まっていると考えられる。これらを踏まえ、従来分かれていた健康分野と食育分野を統合し「調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）」を策定した。さらに、「調布市がん対策に関する条例」に基づく各種取組を幅広く推進し、介護保険が適用されない若年在宅がん患者支援事業を開始したほか、調布市医師会・医療機関・アフラック株式会社等との協議の下、がん患者サポート事業のモデル実施を行うとともに、带状疱疹ワクチン接種費用の助成など予防接種事業の充実を図った。</p> <p>令和6年度も、自殺対策計画の改定等、市民のからだところの健康づくりに向けた各種施策を推進する。</p>
---

## 2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (R5年度)	目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
健康だと感じている市民の割合	%	69.8 令和4年度	74.8	80.0 令和8年度	○	・新型コロナの5類移行等により、健康だと感じている市民の割合は5ポイントの大幅増となった。令和6年度から開始する調布市みんなの健康・食育プランを推進する
定期的にかん検診を受けている人の割合	%	47.1 令和4年度	48.6	55.0 令和8年度	○	・定期的にかん検診を受けている人の割合は1.5ポイント増となった。特に若い世代の受診率向上のため、各種施策の実効性を高めていく
特定健康診査の受診率	%	51.1 令和3年度	53.3	55.0 令和8年度	○	・受診率は基準年度に比べ2.2ポイント上昇しており上昇傾向にあるものの、目標値に向けて更なる取組を推進させる必要がある。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

## 3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

### ■11-1 からだところの健康づくりの推進

No	基本計画事業名	R5取組実績	R5取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
43	歯と口腔の健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・76歳のみとしていた後期高齢者歯科健診の対象者を、令和5年度から76歳から80歳まで拡大した。 ・新型コロナにより中止していた肺がん検診の健康教育を再開し、歯と口腔の健康啓発に努めた。 ・新型コロナにより中止していた調布市歯科医師会との共催による「歯と健康のつどい」を3年振りに開催した。 ・生涯学習出前講座に「生涯を通じておいしく食べられるお口の健康づくり」として歯周病や口腔フレイル予防など歯と口腔の健康づくりの新メニューを追加した。	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・若年層の歯科健診受診勧奨のため、従来の20歳に加えて30歳になる市民にも受診勧奨通知を送付する。 ・学童の小学生・保護者向け夏期出張ミニ講座「おくちのなかってどうなっているの？」（むし歯リスクなど歯と健康がテーマ）を実施する。 ・現在検討中の5歳児健診の実施と合わせた乳幼児歯科健診事業の再編を検討する。

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①「調布市民健康づくりプラン（第3次）」と「調布市食育推進基本計画（第3次）」を統合し、国・東京都の動向や市民への意識調査の結果等を踏まえ「調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）」を策定した。 ②「調布市自殺対策計画」の改定に向け、「調布市こころの健康・自殺対策に関する市民意識調査」を実施した。 ③市内小学生を対象とした市内企業との連携による食育講座について、新型コロナ拡大防止のため中止やオンライン実施など行っていたが、従前の対面形式で実施し、修了者を「調布っ子食育マイスター」として認定した。 ④受動喫煙対策では、年2回の啓発チラシの全戸配布により、調布市受動喫煙防止条例の内容や緑地・緑道の喫煙禁止区域指定を周知するとともに、学童クラブでのたばこをテーマとした健康教育や、調布市医師会の医師による禁煙相談事業などを実施した。 ⑤熱中症対策では、高齢者支援室等と連携し、メール配信や市報を活用して市民への周知・啓発に努めるとともに、気候変動適応法改正への対応に向けて、環境部門を中心に組織横断的な連携体制等の検討を進めた。	①③当該プランに基づき、関係機関・庁内連携の下、健康・食育分野の事業を推進する。 ②市民意識調査の結果や市民・関係機関・庁内職員等による検討のうえ、「調布市自殺対策計画」を改定する。 ④調布市受動喫煙防止条例に基づく取組を推進し、条例の主旨について一層の周知・啓発を図る。 ⑤熱中症特別警戒アラートについて、発令時に市民に適切に周知するとともに、平常時から熱中症のリスクを知り命を守る行動ができるよう啓発を進める。

■11-2 疾病の早期発見・早期治療体制・重症化予防の充実

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
44	【重点③】 総合的ながん対策の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・有識者や調布市医師会等の関係機関と連携し、科学的根拠に基づく効果的ながん検診の実施・受診率向上のため、がん検診体制あり方検討会を設置し、4回の会議を実施した。 ・関係機関と連携し、がん患者・家族の相談・支援体制等の支援施策に関する検討を行い、約6箇月間モデル事業としてがん相談サポート事業を実施した。 ・若年がん患者在宅療養支援事業を開始した。	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・がん検診体制あり方検討会の検討結果を踏まえ、国の指針及び科学的根拠に基づくがん検診の実施に向けた準備を行う。 ・がん患者・家族の相談・支援体制等の支援施策に関する検討会による協議を継続するとともに、がん相談サポート事業を本格実施する。 ・がん患者のウィッグ・補整具購入等助成事業の助成上限額を拡大した。

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①「調布市民健康づくりプラン（第3次）」と「調布市食育推進基本計画（第3次）」を統合し、国・東京都の動向や市民への意識調査の結果等を踏まえ「調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）」を策定した。 ②50歳以上の市民に対して带状疱疹ワクチンの接種費用の一部助成を開始した。 ③令和5年5月の5類感染症移行まで、自宅療養者への支援、医療体制整備に係る補助や啓発用広告塔を設置等の取組など、各種対策や市民支援の施策を即断的に実施した。 ④新型コロナウイルスワクチン接種については、国の指示の下、調布市医師会等の関係機関と連携をしながら接種対象者への特例臨時接種の対応を図るとともに、令和6年度からの定期予防接種への移行検討を進めた。 ⑤HPVワクチン（女性）の積極的勧奨を再開し、受診機会を逃した世代にもキャッチアップ接種を広く周知した。 ⑥高齢者肺炎球菌ワクチンの接種について助成を行った。 ⑦市の新型インフルエンザ等対策行動計画の改定を検討予定であったが、政府行動計画の見直しが見送られたことから、新型コロナ対応を最優先し、計画策定は見送った。	①調布市がんの推進に関する条例や当該プランの基本施策「2-1 総合的ながん対策の推進」に示す施策を推進する。 ②東京都の補助の状況に鑑みつつ、事業の周知・啓発を図る。 ③新型コロナ対策について、この間の取組を総括し、今後の感染症発生時の対応力向上につなげる。 ④新型コロナワクチンの定期予防接種化に向けた対応を行う。 ⑤男性へのHPVワクチン接種費用助成を開始する。 ⑥高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成の継続について検討する。 ⑦国の新型インフルエンザ等対策行動計画の改定に基づき、市計画の改正を検討する。

■11-3 国民健康保険事業等の実施

No	基本計画事業名	R 5 取組実績	R 5 取組説明	今後の方向	今後の取組の方向
45	国保ヘルスアップ事業の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し	・第2期調布市国民健康保険データヘルス計画を推進し、各保健事業の実施により、加入者の健康増進を推進 ・第3期調布市国民健康保険データヘルス計画を策定し、令和6年度からの国保ヘルスアップ事業の内容、目標を決定	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・第3期調布市国民健康保険データヘルス計画に位置付けた個別保健事業を確実に実施し、PDCAサイクルに則った評価を実施 ・令和8年度に行う中間評価に向けた検討を令和7年度中に実施予定

基本計画事業以外の主要な取組実績	今後の取組の方向
①国民健康保険制度の安定的な運営に努め、引き続き、医療費の適正化や国保財政健全化計画に取り組んだ。	①国民健康保険制度の安定的な運営に向けて、医療費の適正化を推進し、国保財政健全化に向けた取組を進める。

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和5年度の取組実績及び令和6年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・生活習慣病等の発症予防や病気による死亡リスクの低下、生活機能レベルの低下の予防など、健康寿命を延ばすための事業について、PHRの推進やビッグデータの利活用により、デジタル技術を活用しながら推進する。 ・検診や各種健康事業等において、電話やがきによる申込方法にインターネットフォーム等によるスマートフォンで完結する方法をさらに拡大し、受診率・参加率の向上を図る。	・アフラック生命保険（株）と調布市の間で締結した「調布市とアフラックとのがん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づき、がんに関する普及啓発やがん検診の受診奨励などの取組を推進する。 ・がん患者のライフステージに応じた包括的な相談支援体制の構築を検討するなど、調布スマートシティ協議会を構成する民間企業等が有するノウハウを活用した取組を推進する。
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・調布市みんなの健康・食育プラン（第4次）に基づく食育を推進することを通じて、食品ロスの削減につなげる ・環境への負荷の少ない自転車の利用の促進を図ることにより、市民の健康増進につなげる ・老朽化した庁用車の更新においては、環境に配慮した車両の導入を原則とする	・避難所での生活となった際の健康を守るため、普段の健康づくり意識の醸成や、運動習慣・体力づくりにつながる各種取組を推進する。 ・調布市医師会等の医療関係団体との継続的な緊急医療救護所訓練や通信訓練を通じて、災害時における初動医療体制の充実を図る。 ・感染対策用品については、ローリングストックの視点を取り入れながら、備蓄品の確保・充実を行う。